

## 防犯まちづくりデザインガイド～計画・設計からマネジメントまで

### 概要

本資料は、建築研究所が第2期中期計画の研究開発の目標として取り組んでいる「安全・安心で質の高い社会と生活を実現する研究開発」の一環として、平成 21,22 年度に実施した重点的研究開発課題「防犯性向上に資するまちづくり手法の開発」の成果物のひとつである。同研究開発課題の推進に当たっては、外部の学識経験者による「防犯に配慮した新市街地形成に関する検討委員会」の助言を得た。本資料は、同委員会の助言及びその下のワーキンググループ委員の協力を得て作成したものである。

本資料は、市街地整備事業実施地区において、道路や公園等の基盤整備、民有地の建築コントロール、まちの管理（エリアマネジメント）などを通じて防犯性の高いまちづくりを実現するための手法を紹介するものである。本資料は理論編とキーワード編に区分される。理論編は、建築研究所及び大学の専門家による 5 編の論考で構成される。キーワード編は防犯まちづくりの考え方を 38 のキーワードを用いて紹介するものである。

依然として国民の犯罪に対する不安は高く、安全・安心に暮らせる防犯性の高い住環境が求められている。本資料で紹介する手法は、新市街地の計画段階から、より効率的、効果的に防犯まちづくりを推進するためのものである。

A Design Guide for Crime Prevention in Urban Developments  
- Planning, Design and Management

Summary

This design guide is one of the results of an important research project entitled “Development of technologies for safer cities and neighborhoods” (2009-2011). This two-year project was carried out under the guidance and advice of a committee consisting of experts from external research agencies, universities and ministries. Members of a working party under the committee cooperated in making this design guide.

This design guide introduces methods to realize safe developments through construction of roads and parks, control of buildings and “area management” using 38 keywords. Typically in Japan, fear of crime is still high and safe living environment is needed where residents feel safe and they really are. The keywords in this design guide are designed to make various efficient and effective methods possible for the security of new developments from the planning stage.

## 防犯に配慮した新市街地形成に関する検討委員会

(委員長)

小出 治 東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻 教授

(委員) (敬称略、五十音順)

秋田 典子 千葉大学大学院園芸学研究科 准教授 ※

雨宮 護 東京大学空間情報科学研究センター 助教 ※

組田 良則 株式会社フジタ技術センター先端システム開発部 部長

寺木 彰浩 千葉工業大学 工学部 建築都市環境学科 教授

野原 卓 横浜国立大学大学院工学研究院 准教授 ※

三浦 良平 国土交通省都市・地域整備局都市・地域安全課 広域防災専門官

渡 和由 筑波大学大学院人間科学研究科芸術学系 准教授 ※

※はワーキンググループ委員

### 建築研究所担当者

樋野 公宏 独立行政法人建築研究所 住宅・都市研究グループ 主任研究員 (幹事)

石井 儀光 独立行政法人建築研究所 住宅・都市研究グループ 主任研究員

(所属は平成 23 年 2 月末時点)

本資料は、上記検討委員会の助言を得て建築研究所が作成した。「Ⅰ理論編」では、検討委員会に設置されたワーキンググループ委員にも執筆していただいた。具体的な執筆箇所は下記の通りである。「Ⅱキーワード編」、参考資料は建築研究所担当者が執筆した。

- I 理論編
- 1 樋野公宏
- 2 渡和由
- 3 野原卓
- 4 雨宮護 (コラム：石井儀光)
- 5 秋田典子

なお、本資料作成に当たっては、補助業務を八千代エンジニアリング株式会社に委託した。

